

きそさきの



VOL.110

2022

令和4年2月1日発行

木曾岬町議会だより



おもな内容

- 第4回定例会 …… 2~3
- ここが聞きたい【一般質問】… 4~7
- 行政報告 …… 8
- 定例会概要 …… 9
- 議会日誌・表紙写真募集 …… 10
- 議員トピックス …… 11

令和3年

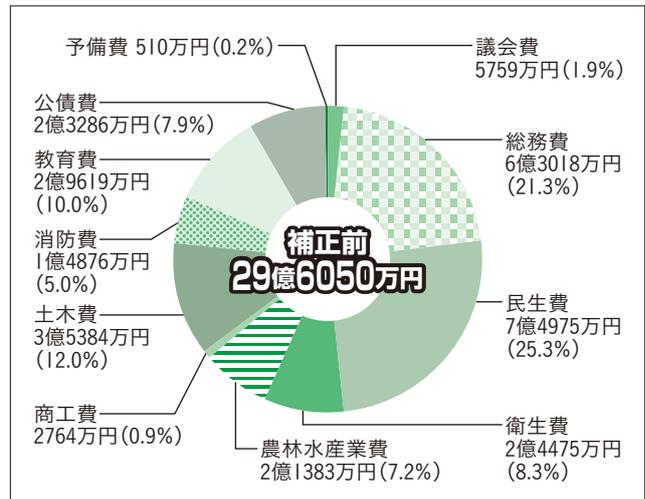
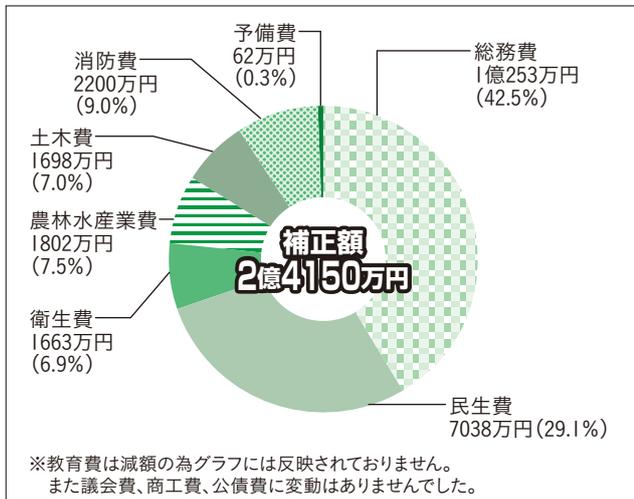
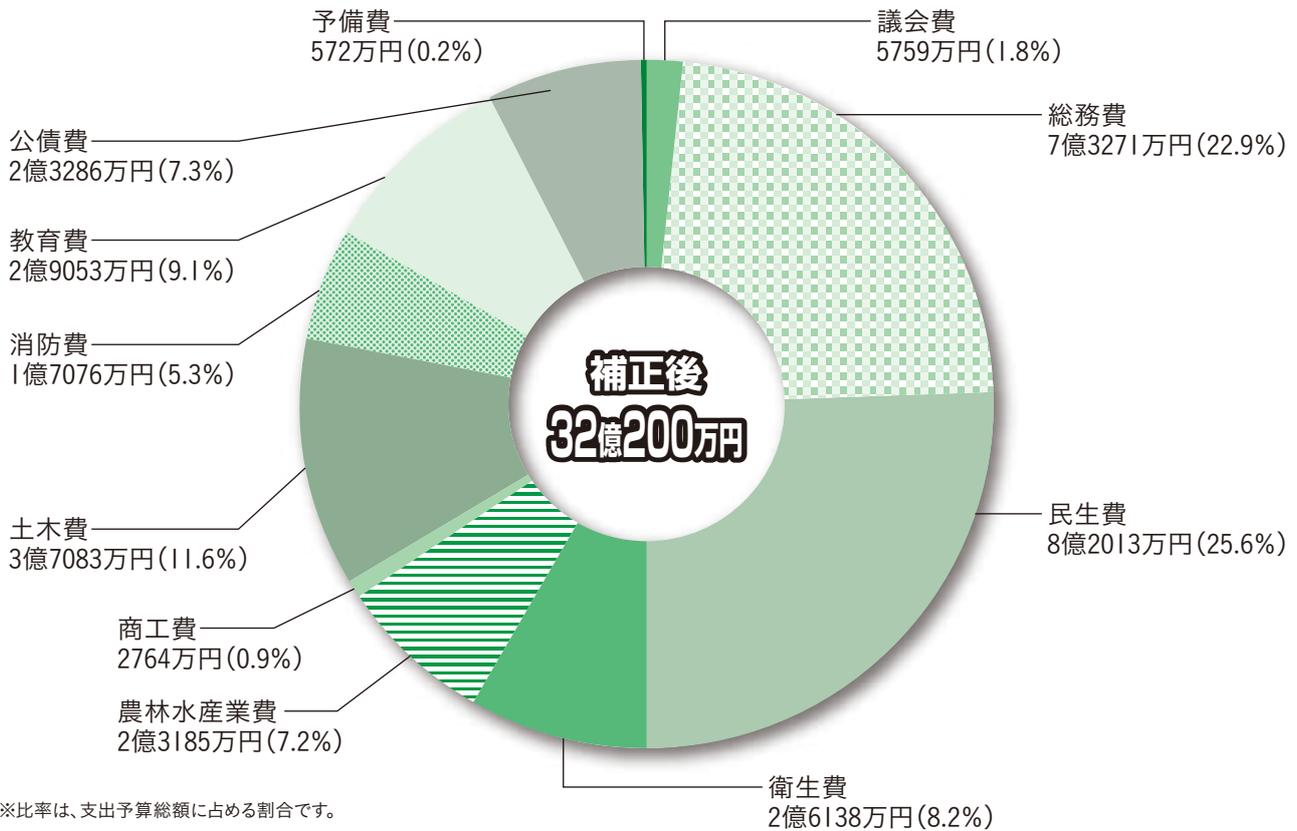
第4回

定例会

子ども医療費無料 18歳・所得制限なし条例改正案を可決

令和4年4月1日から

補正予算総額 2億4千150万円を追加補正 一般会計予算総額 32億200万円に



更なる感染対策補助金等

歳入において、新型コロナウイルススワクチン接種対策補助金や感染症対応地方創生臨時交付金等の国県支出金、旧幼稚園跡地の売却収入、ふるさと応援寄附金、財政調整基金繰り入れ、道路改良事業や排水施設事業の事業増加に伴う地方債等の収入が主なもの。

3回目のワクチン接種

歳出において、ふるさと納税の増額を見込み関係経費の増額、災害時の非常用電源の確保、ペーパーレス会議システムの導入、新型コロナウイルススワクチン3回目の接種、県で実施する排水機場遊水地の浚渫の一部負担金、町道西対海地・和泉線の事業費増額、防災行政無線を緊急速報メールやメール配信と情報連携させるシステム導入等が主なもの。

これら、補正予算を審議し全会一致で可決しました。

18歳以下への10万円現金給付

子育て世帯等臨時特別支援事業（18歳以下への10万円相当の給付）について、全額現金給付に要する補正予算を全会一致で可決し、12月末に給付されました。

子ども医療費無料18歳・所得制限なしに拡大

子ども医療費助成制度は、対象者が安心して医療を受けられるよう医療費を助成する制度です。

これまででは、所得制限を設定し15歳の中学卒業まで対象としていましたが、少子化、定住化対策の取組として、子育てしやすい環境を整備しようとして4月1日から所得制限を無くし、18歳の高校卒業までに拡大する条例の一部改正案を審議し全会一致で可決しました。

第4回定例会一般会計補正予算

主な歳入

・ 国庫支出金	5,009万円
・ 財産収入	3,870万円
・ 寄附金	3,100万円
・ 繰入金	1,200万円
・ 町債	2,540万円

主な歳出

・ ふるさと納税事業	4,518万円
・ 独立電源型の照明灯設置事業	1,210万円
・ ペーパーレス会議システム導入事業	5,800万円
・ 旧幼稚園跡地売却費基金積立事業	3,870万円
・ 町長及び町議会選挙関係経費の減額	△1,055万円
・ コロナワクチン3回目接種事業	2,165万円
・ 排水機場遊水地緊急浚渫事業	1,800万円
・ 道路新設改良事業	1,665万円
・ 防災行政無線と緊急速報メール及びメール配信連携事業	2,200万円
・ 子育て世帯等臨時特別支援事業	7,450万円



こころが
聞きたい

一般質問

この記事は、通告順に掲載し、質問議員本人が作成した原稿を議会広報常任委員会が編集したものです。
なお、掲載文は紙面の都合で要約(約一〇〇〇文字)されておりませんが、一般質問の議事録は木曾岬町ホームページで順次ご覧いただけます。



一般質問とは、議員が議案とは関係なく町政全般にわたって町長等の考え方や意見を求めるものです。

3名の議員が質問

ページ数 **5**

- 1番議席 後藤紀子 議員
- 福祉医療費助成について

ページ数 **6**

- 3番議席 鎌田鷹介 議員
- 生理の貧困について
- 高齢者のスマートフォン活用の支援について

ページ数 **7**

- 6番議席 伊藤 守 議員
- ドローンは重要な災害対策ツールになるのでは
- 小中学生に心のケアを

Q&A



一般質問



1番議席 後藤紀子 議員

医療費の窓口払いをゼロに！

現状の制度を継続

町長

質問

7歳以上の子どもや高齢者・障がい者に於いては未だ償還払い方式を取っている為、窓口での支払いが必要。ひと月の間に何度も病院へ行く状況になれば家計にもかなり響く償還払いは税金の無駄も多いのでは。

償還払いの場合は、各医療機関が国保連合に送った領収証明書1枚につき、200円を各市町が負担する。負担分の支払いで振込手数料も発生する。

更に、窓口で支払った住民に対し、助成決定の通知書を発行し助成金を振り込む。通知書の紙代・印刷代・郵送料・振り込み手数料やそこに関わる人件費も発生する。

この件についてどう思うか。

答弁

現物給付方式は、窓口での費用負担がなくなり受給者の利便性が高まることや、市町においても領収証明書や助成決定通知にかかると費用の軽減、事務

手続の簡素化などのメリットがあります。

問題は、無料化により受診しやすくなることで医療費（助成額）の増大が想定されます。

未就学児の現物給付方式を導入した際、愛知県では県外分を既存のシステムで利用出来ず、事務煩雑などの理由により、約5割の医療機関において取扱いをしてもらえません。

町の負担や経費などの問題と、県外医療機関のシステム上の問題もあるので、現状の制度を継続していくが、福祉医療費助成制度における更なる拡充を県に対して要望をしていきます。

再質問

窓口の無料化により受診しやすくなることで医療費の増大が想定される点があるが、子持ちに暇はないので必要な時にしか行かない。

弥富市の医療機関へ現物給付方式での取扱いのお願いも、県をまたぐ必要はないと思うが。

答弁

伊藤住民課長

医療費の増大については無料化について国で推計をしており、約2〜3割医療費が増大するという結果が出ています。受診実績からいくと、県外で受診をされている方が63%ほどで、ほとんどが弥富市です。なので愛知県の医療機関にお願いをしている状況です。

再質問

県内だけでも無料にして問題はないかと。63%の人が愛知県に行っているのなら、そんなに医療費増大もないのでは。

たとえ負担が増えても、それは必要な医療費なので仕方がないと思う。市町でできることなので木曾岬町としてどうするか。

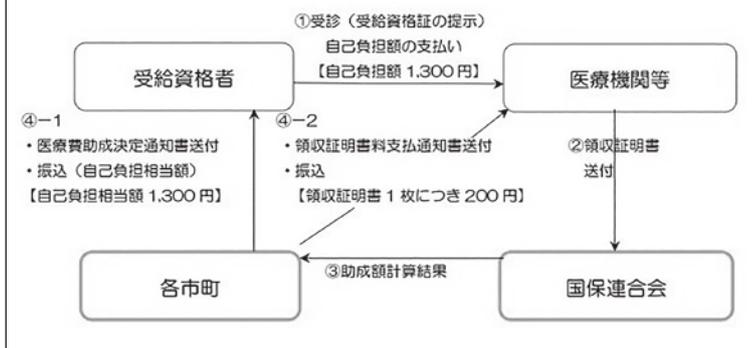
答弁

伊藤住民課長

愛知県が出来ないと中途半端な補助にもなるので、全国のシステムが整えばそれ相当の効果があると考えられます。愛知県のシステムが使えないのと、費用負担が増えるという事を考えると、やはり今の段階では現状のままと考えております。

(1) 領収証明書方式

例：診療点数 650 点、総医療費 6,500 円、自己負担額（2割）1,300 円 の場合



生理用品の設置を進めていく べきでは

配備や配布などの対策を講じます

町長



3番議席 鎌田 鷹介 議員

質問

経済的な理由で生理用品を買えない「生理の貧困」が注目されています。新型コロナウイルスの影響で困窮する世帯が増えるのに伴い、以前から存在していた問題が顕在化してきました。

近隣の自治体や、民間団体が生理用品を無償配布する支援がすでに始まっており、生理の貧困に悩む女性が孤立することがないよう支援体制を整える必要があります。

生理用品は言うまでもなく、女性にとって生活必需品であり、買う余裕がなければ日常生活や勉学、仕事に支障を来しかねず、健康への影響も懸念されます。「地域女性活躍推進交付金」や「地域子ども未来応援交付金」等の活用で、女性や子どもの健康と尊厳を守る対応が必要であり、社協の協力も得ながら公共の場や学校などに生理用品の設置を進めていくべきだと考えますが、町としてのどのような考えかお聞きします。

答弁

内閣府男女共同参画局において、令和3年7月現在の生理の貧困に係る取り組み状況に関する調査結果が公表され、実施または実施を検討している地方公共団体の数は、7月現在で581団体です。提供する生理用品の調達元は、防災備蓄品を利用してある団体が最も多い状況でした。

三重県においては、生理用品を本年の7月から県立学校の個室トイレに配備し、女性相談所などの県有施設では、必要に応じて配布している状況です。県内の市町においては、7月の調査時点で5市2町が実施しており、公共施設や小中学校に、生理用品を女性用トイレへ配備または希望者に対して配布するなど、提供方法は様々ですが、ほとんどの市町が防災備蓄品を利用していません。

本年5月に、近隣市町の取り組み状況を確認し多くの市町が検討する中で、本町においても協議・検討を

したところ、本町で防災備蓄している生理用品は、平成30年度から計画的に購入し、現在、2,350個を在庫管理している状況で、充足率は100%ですが、災害時に使用する目的で備蓄していることから、生理の貧困に向けた新たな取り組みを勘案し、役場庁舎などに配備や配布などの対策を講じたいと考えています。

また、地域女性活躍推進交付金及び地域子ども未来

応援交付金の活用には一定の条件を満たす必要があるため、本町の地域性や実情を踏まえた上で検討したいと考えております。

今後においては、本町における生理の貧困対策に向けて、生理用品の配備などを計画し、適正に対応していきたいと考えています。

※他に「高齢者のスマートフォン活用」の支援について」も質問しています。



一般質問



6番議席 **伊藤 守** 議員

ドローンが必要では

導入を進めたい

町長

質問

災害時にドローンを
使うことで、いち早く
被害状況を把握し、災害
救助活動を進めることがで
きるのではないのでしょうか。
今後のドローンを活用し
た災害対策をどのように考
えていますか。

答弁

町では、令和2年4
月に中部電力パワー
グリッド株式会社と「災害
時におけるマルチコプター
を用いた情報連携に関する
協定」を締結し、災害時に
は映像が提供される協力体
制をとるとともに、三重県
ドローン協会とは、災害時
にドローンと操縦者を組合
せた形で送り込んでいただ
けるような協定の締結を進
めております。
今後とも情報収集や事例
調査を進め、町の災害対策
にとって最適なドローンの
導入を進めていきたいと考
えております。

小中学生に心のケアを

寄り添った支援をする



質問

中学3年生の男子生
徒が、同年の生徒
に包丁で刺されて死亡する
事件が11月24日に発生しま
した。

木曾岬町の児童生徒さん
をはじめ、多くの人が言葉
で言い表せないなどのショ
ックを受けているのではな
いでしょうか。

児童生徒の心のケアを、
どのように考えていますか。

答弁

中学生時代は、心身
共に最も大きく成長
し、また、多感な年頃でも
あり、友達との思いやり、

教育長

支え合い、絆を育む大切な
時であります。

それだけに今回の事件が
児童生徒に与えた影響は極
めて大きく、心の動揺が強
まることが危惧されること
から、心のケアなどの対応
について、教育委員会に指
示をしたところです。

答弁

山北教育長

こども園、小中学校と教
育委員会による月例の管理
職会議の中で、事件後の子
どもたちの様子や学校での
取組について情報交換を図

りました。

中学校長からは、全校集
会で亡くなった生徒の冥福
を祈り黙とうをささげ、命
の大切さについて考える機
会を持ったとの報告があり
ました。

小学校長からは、担任が
各学級で年齢に応じて命の
大切さについて話をし、不
安や悩み事があるときは、
一人で悩まず、先生方やお
うちの方に相談するように
呼び掛けたとの報告があり
ました。

事件の影響で学校を欠席
している児童生徒は今のと
ころいないとのことでした。

いじめや悩みの訴えがあ
った場合は学校として迅速
かつ適切に対応し、学校だ
けで対応できない場合は、
スクールカウンセラーやス
クールソーシャルワーカー
など外部の方の協力を得な
がら、子どもや保護者に寄
り添った支援に努めるよう
改めて指示したところで
す。

行政報告

(要旨)



加藤 隆 町長

新型コロナウイルス感染症

8月26日三重県の新規感染者が過去最大となり、本町でも感染者が8・9月に頻繁に発生し、多くの方が自宅療養を余儀なくされました。このことから自宅療養者訪問看護支援事業に取り組み、フォロアアップ体制の整備を図りました。

ワクチン接種は、1、2回目とも他市町より早く進み、12月3日現在、2回目接種者は5044人、接種率は88.4%です。

また、本町では12月から3回目接種を開始しておりますが、新たにオミクロン株の感染者が世界各国で発表され、国では前倒しを検討しており、本町も感染拡

大の推移と国・県の動向を注視し、的確な対応を行うて参ります。

木曾岬干拓地の状況

11月2日、第9回木曾岬干拓地土地利用検討協議会が開催され、南部区域の都市的土地利用計画の方向性について、協議を行いました。

第3期分譲も順調に進んでおり、今後の土地利用は選択肢を広げるための意見を述べると共に、堤防の雑木や雑草の早期撤去、交通の利便性と安全性を図るための県道バイパス以外のアクセス道路の早期整備、愛知県と連携を取って一体的な地域づくりを目指すこ

木曾川左岸堤防耐震・高潮対策

と。また、現在行われている環境アセスの期間を短縮すること。などについて強く要望しました。

国土交通省が、堤防耐震対策として、鍋田川合流点から上流側に向け、堤防の高上工事に着手しています

が、10月29日、二之湯国家公安委員長兼国土強靱化担当大臣に対し、木曾川左岸や木曾岬干拓地堤防の耐震・高潮対策の早期整備を要望して参りました。

11月18日に中部地方整備局河川部長が来町され、木曾川左岸堤防の状況を視察していただきました。

また、11月12日には、治

水事業促進全国大会に参加し、治水事業の促進のため

の更なる予算確保などについて決議すると共に、三重県並びに愛知県選出の国会議員と、国交省および農水省出身の参議院議員に対し

要望活動を実施しました。更には、12月18日、二之湯大臣が、本町の防災対策

の取組みの視察の為、来町頂く予定をしています。

引き続き、木曾川左岸堤防の耐震・高潮対策の早期整備に向け、全力を尽くして参ります。

全国町村会創立100周年記念式典

創立100周年の記念式典が、11月17日に開催され、先人たちが英知を結集し、

果敢な行動で幾多の困難に立ち向かってきた歴史を胸に刻み、コロナ後の社会を見据え、人の絆、地域のつながりを大切にしながら、

全国926町村の多様な価値をさらに発展させ、全国どの地域も活力に溢れ光り輝く新時代を切り拓くため全力を尽くすことを宣言しました。

また、岸田総理をはじめ、衆参両議長他、来賓出席のもと、全国町村長大会も開催され、政府への要求16項目を決議して閉幕しました。

節目を迎え、我々が直面している人口減少・少子高齢社会、新型コロナウイルス感染症等、様々な困難に對して、政府・自治体そして全ての国民が心を合わせて乗り越えていかなければならないと改めて感じている次第であります。



令和3年
第4回

定例会概要

12月 7日
(開 会 日)
12月10日
(一般質問日)
12月14日
(閉 会 日)

令和3年第4回木曾岬町議会定例会は、12月7日から14日までの会期8日間で開催されました。

今期定例会には、令和3年度の各会計の補正予算、条例の制定など6議案が上程され、すべて可決され閉会しました。

議事内容

議件名(議案の内容)

■議案第48号 令和3年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第5号)について

■議案第49号 令和3年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

■議案第50号 木曾岬町夢ささえあいのまち福祉基金条例の一部を改正する条例の制定について

■議案第51号 木曾岬町福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

■議案第52号 令和3年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第6号)について

■諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について

各議案の賛否

第4回定例会議案等の審議結果です。

第4回定例会審議結果・・・全会一致で賛成でした。

審議の内容や結果等議会議事録は、町ホームページで順次ご覧いただけます。



議案質疑

※質疑が行われた議案に対して、主な内容を紹介しています。

■議案第48号 令和3年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第5号)について

Q 幼稚園跡地の売却で、不動産会社の購入目的は。

A 今、問い合わせをいただいているものは、全て住宅系として使用したいというものばかりで、入札条件は用途指定をして、住宅街にふさわしくないような例えばヤードや工場などはNGという条件設定を考えている。

道路新設改良費の補正について聞きたい。

A 社会資本整備総合交付金において、市町間の事業調整の結果、追加予算の確保が出来たことから、西対海地・和泉線の道路改良工事の進捗を図るために増額を行ったもの。

Q 3回目のワクチン接種の供給体制はもう示されているのか。

A ファイザーで1月31日分までは既に供給がされている。2～3月の接種対象者が約27000人位で、ファイザーが15000人、モデルナが12000人という形での供給が3月分まで示されている。前倒しは三重県から通知がきていないので様子をみている状況。

Q 新型コロナウイルス感染症予防策補助金が2000万円から1000万円に減額したが、減額した1000万円はどうなるのか。

A 減額した1000万円は、別の事業に使うことを検討している。

■議案第49号 令和3年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

Q マイナンバーのリーフレットを作るとのことだが、何故このタイミングで行うのか。

A 県から追加要望という形で補助金の要望があった。町としても保険証の利用に関して周知が必要と考えた。

■議案第52号 令和3年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第6号)について

Q 10万円給付が、1回と2回に分けた場合の経費の差額はいくらか。

A 委託料はシステムの構築費用なので変わらないが、需用費、役務費、使用料及び賃借料がそれぞれ2分の1となる見込み。

傍聴者の声

定例会を傍聴していただきありがとうございました。第4回定例会を傍聴された方は8名でした。毎回、定例会では傍聴アンケートをお願いしており、いろいろなご意見をいただいております。今後の議会運営に活かしてまいりますので、今後ともご協力よろしくをお願いいたします。

議会を傍聴しての感想

●一般質問が3人では寂しい。

議会日誌

2021 10月

18日●桑名・員弁広域連合講演会（副議長）
25日●桑名・員弁広域連合監査（副議長）

2021 11月

2日●県議長会要請活動（議長）
4日●議員懇談会
11日●後期高齢者医療広域連合会勉強会（議長）
12日●例月出納検査（監査委員）
●定期監査（監査委員）
14日●木曾岬町戦没者追悼式（議長）
15日●定期監査（監査委員）
19日●後期高齢者医療広域連合会総会（議長）
24日●議会全員協議会
25日●桑名広域清掃事業組合（議長）

2021 12月

1日●議会運営委員会
5日●町内一斉清掃
●新成人と語る集い（議長）

2021 12月

7日●第4回定例会（開会日）
11日●第4回定例会（一般質問日）
13日●例月出納検査（監査委員）
14日●第4回定例会（閉会日）
●行政視察
18日●二之湯国土強靱化担当大臣町内視察
24日●桑名・員弁広域連合監査（副議長）

2022 1月

3日●正月祭
8日●成人式（議長）
9日●消防出初式
11日●例月出納検査（監査委員）
●議会広報常任委員会
12日●三重県町村議会議長会（議長）
13日●議会運営委員会
17日●議会広報常任委員会

議会だより表紙等の 写真を募集中

木曾岬町内で撮影された
風景や各種イベント等の写
真をお寄せください。

詳細は、ホームページを
ご覧ください。



議会広報常任委員会（議会事務局）

TEL 68-6108

FAX 66-3111

E-mail : gikai@town.kisosaki.mie.jp

議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも傍聴することができます。皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

本会議の当日、議場入口で傍聴の受付をしています。

※感染防止対策の為、マスクの着用、検温、手指消毒、入場制限等にご協力をお願いします。

次回、3月定例会、本会議の予定です。

- 3月 1日(火) 午前9時 開会、議案上程
- 3月 8日(火) 午前9時 教育民生常任委員会
- 3月11日(金) 午前9時 総務建設常任委員会
- 3月15日(火) 午前9時 一般質問
- 3月17日(木) 午前9時 議案採決、閉会



なお、各日程等は変更する場合がございますので、お手数ですがホームページまたは議会事務局までお問合わせいただきますようお願いいたします。



行政視察

令和3年12月14日(火)第4回定例会閉会后行政視察を行いました。

「安全安心の要」

川先排水機場のポンプ設備が完成

平成元年度から事業着手した川先排水機場改修工事で、排水ポンプが設置され運転が開始され、排水能力の向上により安全安心のまちを目指します。今後は、場内整備等の工事を残すのみとなりました。



近江島排水機場更新計画

これまで定期的な整備により小規模な不具合等随時修繕を行い維持管理してきましたが、整備後40年以上経過し施設の耐震性やポンプの老朽化は著しく、湛水被害を未然に防止するとともに、住民の生命財産を守る盾でもある排水機場の更新計画を策定することとなりました。



編集後記

新しい年を迎えましたが、新型コロナウイルスはまだまだ続きそうです。収束する兆しはありません。

今年寅年です。虎は「強い信念で挑む」と言われます。コロナ禍の中、耐え忍ぶ年から一日も早い飛躍をめざします。

ここに第110号の議会だよりをお届けします。

紙面へのご意見・ご感想などをお待ちしております。

議会広報常任委員会一同





「庁舎 物見の塔より」

木曾岬町は、地球温暖化対策の一環として「緑化の推進」に取り組みます。
環境保全のため、再生紙を使用しています。